

## 第2回 野津原中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成 26 年 7 月 31 日（木） 19:00～18:30

場所：野津原市民行政センター 大会議室

○出席者 28 名（内代理出席 1 名）

### 1. 開会のことば

- ・ 秦副会長より、開会のことば。

### 2. 会長あいさつ

- ・ 分藤会長より、開催にあたってのあいさつ。

### 3. 議事

#### 1 スケジュール等について

##### (1) 統合までの手順について

- ・ 資料集をもとに統合までの手順について、事務局より説明する。

<主な質疑応答>

【委員】 碩田中学校区の統合への合意事項の確認がしたい。

【事務局】 碩田中学校区での合意事項は「碩田中学校区の 3 小学校を統合した上で新設校を創設する」「新設校は平成 29 年 4 月の開校を目標とする」「新設校の 3 候補地を併記する」の 3 点である。

○手順については質問等なし。

##### (2) 年間スケジュールについて

- ・ 事務局より、統合合意の年度ごとの動きについて説明する。
- ・ 事務局より、今後の地域協議会の日程について説明する。

<主な質疑応答>

【委員】 統合の年度については今日決めるわけではないということでしょうか。

【事務局】 前回の協議会で統合までの協議のスケジュールはどうなるかという話があったので資料として提示した。いつ統合するかについては、今日決めなければいけないということではない。

○第3回の地域協議会を10月2日（木）19:00～20:30 野津原市民行政センター大会議室で行う。

○協議会を2ヶ月に一度のペースで行うことを確認した。また、今年度は11月27日（木）・2月5日（木）に第4回・第5回の地域協議会を開催する。（いずれも19:00～20:30、野津原市民行政センター大会議室）

## 2 今後の協議内容について

(1) 校区説明会 質疑の要点整理について

(2) 校区説明会 主な質疑の回答について

・事務局より、校区説明会の際の質疑とそれに対する回答を説明する。

<主な質疑応答>

【委員】隣接校選択制や学区外就学で、校区外の学校に行く子がいるため野津原中学校へ入学する子どもが減っている。来年度入学の子ども達に対してどういう対策をするか具体的に何か考えがあるか。

【事務局】こうした制度は保護者の選択の幅を広げるもので、こちらで規制はできない。何か「これをすればいい」という妙案があるわけでもないが、野津原地区だけ隣接校選択制を無くすとか、学区外就学を認めないということではできない。皆様と一緒に考えさせていただきたいと思っている。

【委員】隣接校選択制等で校区外の学校に子どもが通っている保護者の方の負担はどのような状況か。また、校区外の学校に通う子どもは目標達成ができたのか。

【事務局】保護者の負担について直接お聞きしてはいない。しかし、例えば部活動を理由に学区外就学をしている方については、きちんとその部活動に属しているかということについては調査している。

【委員】小学校は地域コミュニティの核なので、その小学校がなくなるということへの対応策はどうなっているか。

【事務局】小学校がなくなったから何もできないということではないと思う。今後この校区は一つの小学校区になるが、実際にどうするかは自治会や今この場に各校の校長もいるのでそういった方も含めて話し合っただけであればと思う。

【委員】今は東部・中部・西部・今市と自治区があるが、統合すると地区が一つになってしまう。野津原は広いから、一つにしてしまうと消防団等の活動で厳しいところがあるかと思うので、小学校の統合と自治区のあり方を並行して考えるような協議が好ましい。

【委員】小学校の校区と自治区は関係がないので、仮に東部小学校がなくなったとしても東部小学校区という自治区はある。だから自治区のあり方については各自治区で考えれば良いと思う。

【委員】「行政はどう考えているか」「行政は何をしてくれるのか」といった意見でなく、自分達に何ができるかということから考えて意見を出すべきだ。例えば、小学校がなくなった後に校区公民館を立ち上げ、それぞれの校区で運営するとかも考えられるではないかと思う。

【委員】統合が本当に必要なのか、保護者以外の校長先生や教育委員会の意見も聞きたい。納得した上で話を進めるべきだ。

【事務局】この統合の一番の目標は「複式学級の解消」である。小規模校を否定するわけではないが、人数の面で制限されてしまうことがあるのも事実である。理想は各学年2クラスだが、同学年の人数が増えるだけでもやれることが変わってくる。そういった観点から統合については考えている。

【委員】この先、もしかすると中学校もなくなる可能性がある。そうならないためにも地域の方がもっと入ってこられるような会を作った方がいいのではないかな。

【事務局】中学校区を再編するという事は考えていない。本校区の子供達が中学校に上がっていただくことを目指して、本校区の教育の充実を図っていきたい。

【委員】ここに来られている保護者の方々は同じ小学校の仲間から統合についていろいろ話を聞いていると思う。この会は統合を前提にあると思うが、統合に対しての考えをしっかりと理解して次のステップへ行くべきではないかと思うので、皆さんの意見を聞かせてもらいたい。

【委員】なかなか意見が出にくいのは、自分の意見だけで話を進めることはできないという気持ちがあるからだと思う。一度校区に持ち帰って統合に対して他の方がどう考えているか聞くことにしたい。

○委員の方が資料を持ち帰って保護者や地域の方と相談し、何かあれば次回の協議会で意見を出していただくことにする。

### 3 その他

・事務局より、地域協議会員一覧の修正版、次回の日程について説明する。

<主な質疑応答>

【委員】確認であるが、もし校区に持ち帰って話をして「統合はしない方がいい」となった場合、統合は無しになるのか。

【委員】地域協議会の規約に「統合を目的とする」という文言があるため、こうして協議会が設立されたということは、その方向で動こうとしているということである。統合に向けて時間をかけて話をしていくことに、問題は無いので確認をしながら協議を進めていっていただきたいと思う。

○第3回地域協議会を10月2日(木)の19:00~20:30に、野津原市民行政センター大会議室で開催することを確認する。  
○次の協議の内容などについては会長・副会長と事務局で協議し、次回示すことを確認する。

### 4. 閉会のことば

・秋吉副会長より、閉会のことば。